

おとぎの国のモードをさがして

Hairy

Thale

Mood



2026.6.27 Sat. 8.30 Sun.

休室日 | 月曜日(7月20日を除く)、7月21日(火)

開館時間 | 10:00-18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで

主催 | 千葉市美術館

観覧料 | 一般 1,500(1,200)円 大学生 1,000(800)円 小・中学生、高校生は無料

*障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 *()内は前売り、団体20名以上、市内にお住まいの65歳以上の方の料金 *ナイトミュージアム割引=金・土曜日の18:00以降は観覧料2割引 *本展チケットで7階「なぞとき!日本の物語絵」および5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます *前売り券は、ミュージアムショップまたはローソンチケット(Lコード:35548)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モブレル「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて6月26日まで販売(6月27日以降は当日券販売)

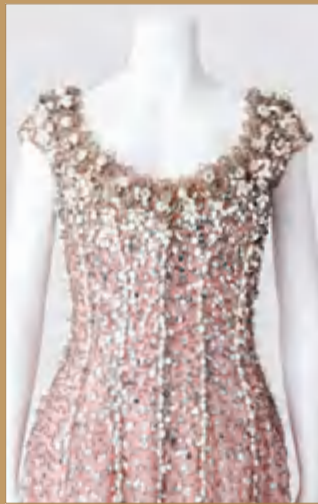
千葉市美術館
Chiba City Museum of Art



時代や地域を超えて語り継がれてきた「おとぎ話」は、妖精や魔法使い、森、変身といった象徴的なモチーフに彩られながら、挿絵や装飾、舞台芸術、ファッションなどの視覚文化を通して豊かなイメージを形づくってきました。なかでも、赤ずきんのフードや長靴をはいた猫のブーツ、シンデレラのがラスの靴といった印象的な装いは、登場人物を象徴するイメージとして広く親しまれてきました。こうしたモチーフのなかには、おとぎ話の想像力とモードの感性がゆるやかに交差する様子を見てとることができます。

本展では、19世紀から20世紀にかけてヨーロッパで花開いた挿絵本の世界を中心に、おとぎ話のイメージのなかに息づく「モード」をさぐります。また、ヨーロッパを中心に広がってきたおとぎ話の豊かなイメージの変遷を辿り、それらが時代の感性と響き合いながらどのように新たな姿をまとってきたのかを、美術・デザイン・ファッションの観点から多角的に読み解きます。

※会期中に一部展示替えあり



1. ウォルター・クレイン「シンデレラ」1873年 鶴見大学図書館 2. ウォルター・クレイン「赤ずきん」[1898年] 鶴見大学図書館 3. エドモンド・デュラック「青ひげ」(『眠りの美女と他の童話』より) 明治学院大学図書館 4. 「プシュケー・ウォルトのイヴニング・ドレス」(絵: ジョルジュ・バルビエ)「ガゼット・デュ・ボンボン」(1921年第9号) 栃木県立美術館 5. クリスチャン・ディオール/マルク・ポアン「イヴニング・ドレス」1964-65年 文化学園ファッションリソースセンター 6. 「青い鳥」衣裳(デザイン: レオン・バクスト/着用: スタニスラス・イジコフスキー)1920年代 兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二バレエ・コレクション *8月16日開催の特別上演にて、本作再現衣裳を着用したバレエ「青い鳥」をご覧ください 7. 「レオン・バクストの「眠れる森の美女」」1922年 明治学院大学図書館 8. カイ・ニールセン「12人のおどるお姫さま」(『おしろいとクリノリン』より)1913年 青山学院大学図書館 9. アーサー・ラッカム「ふしぎの国のアリス」1907年 青山学院大学図書館 表: ウォルター・クレイン「赤ずきん」(部分)[1898年] 鶴見大学図書館



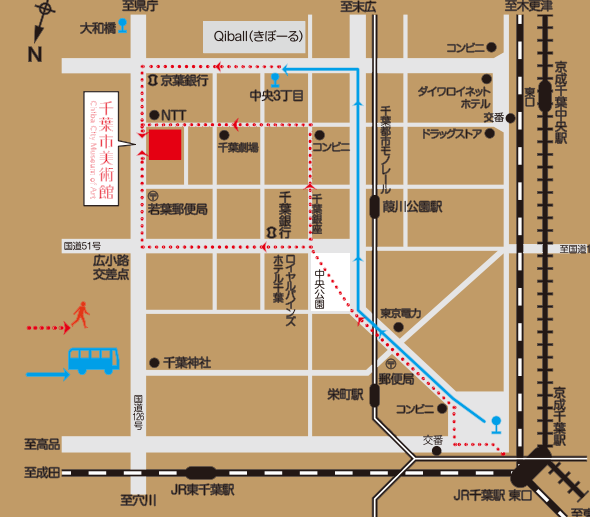
交通案内

●JR千葉駅東口より
徒歩約15分/バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車
徒歩約3分/千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分

●京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

●東京方面から車では 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

*地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで) *シェアサイクルスポットがあります



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央 3-10-8
Tel.043-221-2311(代表) https://www.ccmma-net.jp



関連イベント

*事前申込制イベントの詳細や申込方法は、美術館ホームページをご覧ください。

●特別上演

「おとぎの国をめぐる踊りと音楽」
 演目:『牧神とニンフの午後』『青い鳥』『シェヘラザード』『シンデレラ』
 監修・出演:関典子(神戸大学准教授/薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター/コンテンポラリーダンス)
 出演:後藤俊星(バレエ)、若林絵美(バレエ)、佐藤一紀(ヴァイオリン)、三浦栄里子(ピアノ)
 衣裳:鷲尾華子(『青い鳥』再現制作)
 解説:山下彩華(当館学芸員)
 特別協力:兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二バレエ・コレクション、カワイ千葉
 8月16日(日)①11:00~(10:30 開場予定)②15:00~(14:30 開場予定)/1階さや堂ホールにて/先着80名(当日10:00/13:00より1階にて整理券配布)/観覧無料(要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可)

●トークイベント

「おとぎ話はだれのもの」
 登壇者:レイチェル・ダムール氏(ドラッグクイーン)
 聞き手:山下彩華(当館学芸員)
 8月1日(土)14:00~15:30/5階ワークショップルームにて/定員:80名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料(要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可)

●ワークショップ(事前申込制)

講師:キンノイト(装飾品作家)

①「くるくるまきまき ピーズから作るおとぎの国のアミュレット」
 7月26日(日)10:15~12:30/対象:小学校3~6年生 ※小学4年生以下は要保護者同伴/定員:12名/参加費:1000円(材料費込)/応募受付期間:6月1日(月)~7月15日(水)

②「ペーパービーズで彩る おとぎの国の装飾品」
 8月2日(日)13:30~16:30/対象:中学生~大人/定員:20名/参加費:2000円(材料費込、大人は別途要展覧会チケット)/応募受付期間:6月1日(月)~7月20日(月・祝)

●映画上映会

「ロバと王女」
 7月11日(土)14:00より(13:30開場予定)/5階ワークショップルームにて/先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布)/無料(要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可)

●コンサート

「弦楽四重奏で楽しむおとぎの国」
 出演:千葉交響楽団
 7月20日(月・祝)11:00~(10:30開場予定)/1階さや堂ホールにて/先着80名(当日10:00より会場前にて入場券販売)/入場料:1,000円(高校生以下500円)

●市民美術講座

「おとぎ話を織うーファッションに見る物語のかたち」
 講師:山下彩華(当館学芸員)
 8月8日(土)14:00より(13:30開場予定)/5階ワークショップルームにて/先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料(要展覧会チケット・半券、招待券、友の会会員証可)

●担当学芸員によるショートレクチャー

7月1日(水)、8月11日(火・祝)14:00~1階多目的室にて/先着30名程度/参加無料

●美術館ボランティアスタッフによるギャラリートーク

会期中の毎週水曜日(7月1日を除く)14:00より/先着15名(当日13:30より8階受付にて参加証配布)/参加無料(要展覧会チケット)
 ※水曜日以外の14:00にも開催することがあります ※混雑時には中止する場合があります

●ちばしび託児サービスデー(事前申込制)

8月16日(日)13:00-16:00

●同時開催

7階企画展示室:「なぞとき!日本の物語絵」
 *「おとぎの国のモードをさがして」/Fairy Tale MODE」をご観覧の方は無料

5階常設展示室:「千葉市美術館コレクション選」

休室日:第1・3月曜日(祝日の場合は開室)/企画展をご観覧の方は無料

4階子どもアトリエ:「つくりかけラボ21 清水裕貴 | 幽霊椅子事件」

2026年6月20日(土)~10月4日(日)
 休室日:第1・3月曜日(祝日の場合は開室)/観覧無料

●次回展予告

「千葉開府900年記念 天一月、星をもとめて(仮称)」
 2026年9月16日(水)~11月23日(月・祝)